

## 目標達成計画

作成日: 平成27年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48 49	希望により個々戸外に出たりする機会を増やしているが、年々運動機能低下により、行動範囲も徐々に減少しつつある。	理学療法士の指導のもと、毎日の生活の中で運動機能能力を高める取り組みを行う。	毎日昼食前には体操、嚥下体操を行い、一週間に1回理学療法士による機能訓練を行っている。又、気候や身体状態に合わせて散歩も行っている。	12ヶ月
2	33 34	利用者の重度化・医療の必要性が増加傾向にある。	身体の仕組みをはじめ、加齢による身体の変化、かかりやすい疾患、高齢期によく見られる症状など、介護職として身につけていおく医療知識を高める。	施設内研修として、全職員へ知識付けを図ると共に日常より併設施設看護職員とも連携し、必要な情報収集に努めている。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。